

11月の「つどい」のご案内

【とき】2024年11月20日(水) 13:30~15:30

【ところ】南区民センター 2階 視聴覚室

札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1 地下鉄南北線 真駒内駅 徒歩7分

【問い合わせ】家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

※出欠の予定をお知らせいただくと助かります。よろしくお願いします。

12月の「つどい」は手稲区で12月20日(金)に開催予定です。



10月の「つどい」は10月21日(月)白石区民センターで17名の参加をいただき開催しました。「ちょこっと学習会」は、「あんしん住まいサッポロ」でも活動している、当会相談担当の松前人美さんより「高齢者の住まい選び」について説明しました。高齢者向けの施設や住宅は、特別養護老人ホーム・介護老人施設・介護医療院などの介護老人保健施設、養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、またサービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなどいろいろな場所があります。其々、入居条件、費用、介護医療体制など様々で、一長一短があります。一番数が多いのがサ高住で、安否確認と生活相談のサービスは必須。ここでは介護が必要になると外部からの有料サービスを利用することになります。住まいを探す・選ぶポイントは予算、タイプ、希望条件などですが、全て満足できる所はありません。複数の所を見学し、即決せず慎重に決めることが大切です。また、ホームは楽園ではありませんので、なじむ努力は必要です。その後はいつもの語り合いで、皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

☎ 90代の母を介護 同居の娘

初めての参加です。母は8年前田舎から呼び同居しました。ほぼ自立していますが、物取られ妄想(壊された、隠されたも)が激しく暴言と戦っています。自分のメンタル、どう乗り越えていくかを学びたいです。妄想は毎日ではなく我慢することもあります。続くときは続きます。同居していた夫を犯人と責めるので、別居しましたが、それでも来ていると責めます。自分は認知症でないと思っているので、受診治療、介護認定はできず、介護サービスも利用できていません。一度介護認定しようとしたのですが、母の反対で失敗しました。心臓の疾患があり循環器内科には通院し病院への抵抗感はないようです。

☎ 会員から

物取られ妄想は認知症になるとよくある症状です。病気が言わせていると割り切る、気にしないように考えることも必要です。年齢を考えると、否定しないなどの対応で、今の状況が少しずつ穏やかになってくるかと思われ。包括と相談して初期集中支援チームでかかわって頂く、という対策もあります。

☎ 会員から

すごく辛い状況、気持ちがよくわかります。少しでも軽く楽になる方法はないか、いろいろみんなで考えて、できそうなことを選択する。地域包括支援センターなどに相談し介護保険等サービスを利用する形にもっていけるといいかなと思います。このままでは気持ちが折れてしまうので、相談する、話をするいろいろな場があることを知ってほしいです。

☎ 会員から

認知症のような症状が出たとき、介護者が認知症という病気を理解できるといいです。昔サービスも

ない時代には、家族の会のつどいで、悩みを吐き出してもらいながら、一緒に共感しながら話し合いをしました。家族の会に来て、同じことで苦労した人といっぱい話した方がいいと思います。また、お母さまを時に褒める、いいところを見つけてあげること必要かも知れません。ぶつかってしまった時は、少し離れて、時間をおくのも正解ですよ。

☎ 90代の母を介護 同居の娘

デイサービス、ショートステイ、訪問看護を利用。デイは理解していないこともあり、時々行きたくないとい泣いてしまうことが続いています。夕方になると自分の家に帰ると始まるのもほぼ毎日あります。訪問看護師さんは母と話が合い、リハビリや薬の相談などが出来、自分としてもとても助かっています。

☎ 会員から

高齢の場合外出時のリスクもあるので、訪問診療や訪問看護の利用をお勧めします。看護師さんや施設には、お母さんの趣味や小さいころの様子などの情報提供しておくことも大切なことです。引き出しがたくさんあれば、話がし易くなり、気持ちも安定し喜ばれると思います。また、訪問をいやがる方も居られます。その時もお話などで家の中で楽しいことがあれば、すんなりに行くこともあります。

☎ 包括職員から

私は要介護1の母がいます。自分が仕事で何十年も接している認知症の方に関わる時と、自分の母に関わる時とは全く対応が違います。自分の家族だといつて厳しいことを言う私がいいます。両方のお気持ちがとてもよくわかります。やはり一人で抱え込まないで、相談できる友人や場所が必要だと思います。